

# すべての建設アスベスト被害者を 救済する判決を

## 建設アスベスト訴訟最高裁 公正判決要請署名

最高裁判所 第二小法廷

裁判長 菅野 博之 殿  
裁判官 大谷 直人 殿  
裁判官 三浦 守 殿  
裁判官 草野 耕一 殿  
裁判官 岡村 和美 殿

建設現場は、わが国最大のアスベスト被害の現場です。すでに、1万人を越える被害が発生し、今後も数万人規模の被害発生さえ予測されています。

国と建材企業は、早くから石綿建材の危険性や被害発生を知っていたにもかかわらず、建材企業は、危険性を現場に知らせることもなく長期にわたって石綿建材の製造・販売を続け、国もまた、「適時にかつ適切に」必要な規制を行いませんでした。

そのため、建設現場では大量の石綿粉じんが飛散し、労働者、一人親方、零細事業主が等しく石綿粉じんにはく露し、中皮腫、肺がん、石綿肺等に罹患しました。

建設アスベスト訴訟の提訴後10年間で、全国12訴訟の被災者約700人のうち、現在生存している原告はわずか3割弱に過ぎません。原告らの権利救済は急務です。

原告らはこの間、すべての建設アスベスト被害者が救済される「建設アスベスト被害者補償基金制度」の創設を含む全面解決を求めて活動しています。

憲法の番人であり、人権救済の最後の砦である最高裁判所が、法的正義に基づき、人間存在の基本であるいのちと健康を何よりも尊重する「正義の証」、すべての建設アスベスト被害者が救済され、全面解決に資する公正な判決を出されることを、私たちは心より切望します。

氏 名	住 所

取り扱い団体

※署名用紙に記入された情報は、個人情報として適切に管理します。



**建設アスベスト九州訴訟本部**

原告団・弁護団・福岡県建設労働組合・熊本県建築労働組合・建交労働熊本本部・建交労働大分県本部

事務局 福岡県建設労働組合

〒815-0031 福岡市南区清水1-22-9

TEL 092-511-4703 FAX 092-511-4752



# あやまれ! つぐなえ! なくせ! アスベスト被害 すべてのアスベスト被害者を 救済する判決を!

## 全国各地で裁判が続いています

「建設アスベスト訴訟」は、アスベストの粉じんを吸い込んだ(ばく露した)ことにより主に呼吸器系の疾患に罹患する等の健康被害を受けた建設従事者や遺族が、「危険性を知りながら規制を怠ってきた」国と、「営利を優先してアスベスト建材を製造販売した」建材製造企業を相手取り、賠償を求めた裁判です。建設アスベスト訴訟は九州の他にも、北海道・関東・関西地方で同様の裁判が続いており、これまで地裁・高裁判決あわせて、**11回連続で国の責任が断罪されています。**

企業の責任についての判断も、これまでに5度出された高裁判決のうち、福岡高裁の判決を含め計4度認められており(地裁判決を含めると合計で**6度認定**)、「規制を怠った国」と、「危険なアスベスト建材を作り続けた」アスベスト建材製造企業の責任は、もはや揺るぎないものとなっています。

2008年に提訴した建設アスベスト訴訟は現在、九州・関東(東京・神奈川)・関西(京都・大阪)の1陣訴訟については、最高裁にて審理が続けられています。また、神奈川2陣訴訟の控訴審判決(東京高裁)が8月28日に、東京2陣訴訟の東京地裁判決が9月4日に言い渡される予定となっています。

しかし、この間にも多くの建設労働者がアスベストに起因する疾病で命を落としています。

私たちは、アスベスト粉じんが原因で死亡・呼吸器系の疾患にかかった全ての建設従事者が一日も早く救済され、全面解決へと導く道筋をつける、公正な判決を最高裁判所に求めています。



## 全国の建設アスベスト訴訟・司法判断の経過

	九州建設アスベスト訴訟		大阪訴訟		京都訴訟		神奈川訴訟		東京訴訟		北海道訴訟	
	1陣	2陣	1陣	2陣	1陣	2陣	1陣	2陣	1陣	2陣	1陣	2陣
2008年							6月 提訴		5月 提訴			
2009年												
2010年												
2011年	10月 提訴		7月 提訴		6月 提訴							4月 提訴
2012年							5月25日 地裁敗訴判決			12月5日 地裁判決 国に勝訴(初勝訴)		
2013年												
2014年	11月7日 地裁判決 国に勝訴(2回連続)							5月 提訴		6月 提訴		
2015年												6月 提訴
2016年			1月22日 地裁判決 国に勝訴(3回連続)		1月29日 地裁判決 国に4連勝・企業責任も認める							2月14日 地裁判決 国に勝訴(5回連続)
2017年												
2018年		2月 提訴	9月20日 高裁判決 国(10連勝)・企業(5回目)に勝訴		8月31日 高裁判決 国(5連勝)・企業(4回目)に勝訴	1月 提訴						
2019年	11月11日 高裁判決 国(11連勝)・企業(6回目)に勝訴											
2020年												
裁判所	最高裁	福岡地裁	最高裁	大阪地裁	最高裁	京都地裁	最高裁	東京高裁	最高裁	東京地裁	札幌高裁	札幌地裁
原告数	55	31	32	77	27	19	91	51	351	121	29	17

最高裁に公正な判決を求める署名にご協力ください